



2026年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月14日

東

上場会社名 株式会社アンビスホールディングス 上場取引所
コード番号 7071 URL <https://www.amvis.com>
代表者 (役職名) 代表取締役 CEO (氏名) 柴原 慶一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 山口 真吾 (TEL) 03(6262)5105
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第3四半期の連結業績(2025年10月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第3四半期	38,288	5.3	6,157	△8.1	3,623	△22.9	3,681	△23.9	2,485	△17.1
2025年9月期第3四半期	36,364	18.4	6,701	△29.2	4,697	△42.4	4,838	△40.6	2,998	△47.8

(注) 1. 包括利益 2026年9月期第3四半期 2,488百万円(△17.0%) 2025年9月期第3四半期 2,998百万円(△47.8%)

2. EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額+株式報酬費用

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第3四半期	25.41	25.40
2025年9月期第3四半期	30.73	30.73

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第3四半期	78,555	38,555	49.0
2025年9月期	83,947	36,132	43.0

(参考) 自己資本 2026年9月期第3四半期 38,508百万円 2025年9月期 36,132百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	4.00	4.00
2026年9月期	—	0.00	—	—	—
2026年9月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年9月期の連結業績予想(2025年10月1日～2026年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	51,700	5.1	7,100	△20.8	3,800	△38.3	3,300	△48.0	2,100	△42.6

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年9月期3Q	98,112,000株	2025年9月期	98,112,000株
2026年9月期3Q	58,857株	2025年9月期	578,157株
2026年9月期3Q	97,831,330株	2025年9月期3Q	97,568,361株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(連結の範囲又は持分法の範囲の変更)	9
(会計方針の変更に関する注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当社グループでは、「世界で最もエキサイティングな医療・ヘルスケアカンパニーへ」をビジョンに掲げ、医心館事業に続く第二、第三の事業を創出し100年続くカンパニーを目指しております。

当第3四半期連結累計期間において、医心館事業では新たに8事業所（埼玉県：1、千葉県：1、東京都：3、神奈川県：1、三重県：1、大阪府：1）を開設した一方で「医心館 倉敷」を事業譲渡しました。今後、さらに綿密なマーケティングと開設戦略に基づいて積極的な開設を進め、併せて医療機関ほかに対する精力的な営業活動を行うことにより、長期的かつ持続的な成長を実現してまいります。

また、直近では、医心館の運営等で獲得したノウハウを活用し、総合医療支援事業に本格的に参入しており、当第3四半期連結累計期間においても、医療機関への支援の実績を積み上げております。今後は地方・過疎地に限定せず、総合病院・後方支援病院を含めた幅広い医療機関に対して経営支援に取り組んでまいります。

引き続き、大志ある未来像を見据え、重要で本質的な価値を創出するために、時には常識も疑い、斬新な解決策を模索するハングリーなチャレンジャーであり続けます。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は以下のとおりです。

[当第3四半期連結累計期間の業績]

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)	増減額	増減率
売上高	36,364	38,288	+1,923	+5.3%
EBITDA	6,701	6,157	△543	△8.1%
営業利益	4,697	3,623	△1,074	△22.9%
経常利益	4,838	3,681	△1,157	△23.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,998	2,485	△512	△17.1%

(注) EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額 + 株式報酬費用

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、経営資源の再配分、経営管理体制の実態及び今後の成長戦略の観点から、報告セグメントを区分することが当社グループの経営実態を反映するものと判断したため、従来単一セグメントとしていた報告セグメントを「医心館」および「総合医療支援」の2区分としており、以下の前年同期比較については、前第3四半期連結累計期間の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注意事項(セグメント情報等の注記)」をご参照ください。

[当四半期連結累計期間のセグメント別業績]

(単位：百万円)

セグメント	項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)	増減額	増減率
医心館	売上高	35,976	37,393	+1,416	+3.9%
	セグメント利益	4,565	3,023	△1,542	△33.8%
総合医療支援	売上高	388	897	+509	+131.1%
	セグメント利益	131	599	+468	+356.4%

(注) 1. 売上高は、各セグメントの売上高を表しております。

2. セグメント利益は、各セグメントの営業利益を表しております。

① 医心館事業

医心館事業においては、特別調査委員会対応等の影響により一時的に施設稼働率が低下したものの、前年度に開設した施設の稼働立ち上がりが進展したこと等の理由により、売上高は37,393百万円（前年同期比3.9%増）、となりました。

一方、新規施設開設に伴う先行的な人員配置や、人材確保を目的とした人件費の増加等の影響を受けたことから粗利益率が低下し、セグメント利益は3,023百万円（前年同期比33.8%減）となりました。

② 総合医療支援事業

総合医療支援事業においては、経営支援先医療機関が2機関増加したことに加え、既存支援先に対する提供サービスの拡充が進展したこと等により、売上高は897百万円（前年同期比131.1%増）となりました。

一方、一部の取引先に対して貸倒引当金繰入額35百万円を計上しましたが、売上高が増加したことによりセグメント利益は599百万円（前年同期比356.4%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高38,288百万円（前年同期比5.3%増）、営業利益3,623百万円（前年同期比22.9%減）、経常利益3,681百万円（前年同期比23.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,485百万円（前年同期比17.1%減）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は78,555百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,391百万円の減少となりました。これは主に、新規事業所の開設に伴い有形固定資産が2,474百万円増加したものの、借入金の返済等により現金及び預金が7,565百万円減少したことによるものです。

(負債の状況)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は40,000百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,814百万円の減少となりました。これは主に、返済に伴い借入金が7,982百万円減少したこと等によるものです。

(純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は38,555百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,422百万円の増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益2,485百万円により利益剰余金が増加したことに加え、譲渡制限付株式の付与に伴う自己株式の処分により自己株式が744百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年9月期の連結業績予想につきまして、2025年11月6日に開示いたしました「2025年9月期 決算短信」の通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,833	3,267
売掛金	9,191	9,066
棚卸資産	30	45
その他	1,855	1,724
貸倒引当金	△171	△209
流動資産合計	21,738	13,894
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	43,979	45,536
機械装置及び運搬具（純額）	4	2
工具、器具及び備品（純額）	202	226
リース資産（純額）	7,914	9,019
土地	2,471	3,272
建設仮勘定	2,592	1,581
有形固定資産合計	57,165	59,639
無形固定資産		
その他	185	166
無形固定資産合計	185	166
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,570	3,556
繰延税金資産	851	817
その他	436	481
投資その他の資産合計	4,857	4,855
固定資産合計	62,208	64,661
資産合計	83,947	78,555

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	149	186
短期借入金	7,699	—
1年内返済予定の長期借入金	4,763	5,208
リース債務	202	238
未払金及び未払費用	3,748	2,929
未払法人税等	433	253
賞与引当金	1,310	1,506
その他	1,137	825
流動負債合計	19,444	11,148
固定負債		
長期借入金	19,277	18,549
リース債務	8,210	9,361
訴訟損失引当金	11	—
資産除去債務	639	656
退職給付に係る負債	66	83
その他	164	200
固定負債合計	28,369	28,852
負債合計	47,814	40,000
純資産の部		
株主資本		
資本金	66	66
資本剰余金	11,641	11,175
利益剰余金	25,187	27,282
自己株式	△750	△5
株主資本合計	36,145	38,519
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△12	△10
その他の包括利益累計額合計	△12	△10
新株予約権	—	46
純資産合計	36,132	38,555
負債純資産合計	83,947	78,555

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
売上高	36,364	38,288
売上原価	25,131	28,135
売上総利益	11,233	10,152
販売費及び一般管理費	6,536	6,529
営業利益	4,697	3,623
営業外収益		
補助金収入	387	473
出資金売却益	149	—
雑収入	31	136
営業外収益合計	568	609
営業外費用		
支払利息	415	504
雑損失	12	47
営業外費用合計	427	551
経常利益	4,838	3,681
特別利益		
事業譲渡益	—	34
特別利益合計	—	34
特別損失		
固定資産除却損	—	14
特別調査費用等	199	—
特別調査費用引当金繰入額	354	—
特別損失合計	553	14
税金等調整前四半期純利益	4,285	3,701
法人税等	1,286	1,215
四半期純利益	2,998	2,485
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,998	2,485

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	2,998	2,485
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	0	2
その他の包括利益合計	0	2
四半期包括利益	2,998	2,488
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,998	2,488
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(連結の範囲又は持分法の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	医心館	総合医療 支援	計		
売上高					
外部顧客への売上高	35,976	388	36,364	—	36,364
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	35,976	388	36,364	—	36,364
セグメント利益	4,565	131	4,697	—	4,697

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	医心館	総合医療 支援	計		
売上高					
外部顧客への売上高	37,393	895	38,288	—	38,288
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	2	2	△2	—
計	37,393	897	38,291	△2	38,288
セグメント利益	3,023	599	3,623	—	3,623

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、医心館事業の単一セグメントであったことから、セグメント情報の開示を省略しておりましたが、第1四半期連結会計期間より経営管理区分の見直しに伴い、報告セグメントを「医心館」および「総合医療支援」に区分して開示しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	1,974百万円	2,425百万円
のれんの償却額	4百万円	17百万円